



◀大丸小学校の避難の様子▶



【菱田分団の皆さん】  
●女性団員2名活躍中です！

大丸小学校は東干草公民館、菱田小学校はふれあいの里公園へそれぞれ向かい、避難に要した時間はどちらも約14分でした。参加した先生に避難の際に気をつけていることを聞くと「落ち着いて行動しよう。避難場所を必ず確認してから避難しよう」と児童に指導しているそうです。

実際に避難訓練に参加した方々からは、「非常食や避難道具等の確保ができてはいるか心配になった」や「身体の不自由な人たちを運ぶ人などを決めておいた方が良い」、「隣近所で協力し合って安否確認を行うなど助け合って避難するようにしたい」等の声が挙がり、常日頃からの備えや、集落内での避難体制をどうするかなどを考える良い機会となったようです。



◀菱田小学校の避難の様子▶



## ◆風水害や土砂災害に備えましょう【消防防災係】

近年、全国的にゲリラ豪雨や水害などによる大規模な土砂災害が発生しております。これからの梅雨期の豪雨や台風の襲来による土砂災害から身を守るため、以下のことについてお知らせします。

### ①お住まいの場所が、土砂災害の危険箇所か確認

土砂災害の約6割は、『土砂災害危険箇所』で発生します。普段からお住まいの場所が土砂災害危険箇所にあるかどうか、国土交通省のホームページ ([http://www.mlit.go.jp/river/sabo/link\\_dosya\\_kiken.html](http://www.mlit.go.jp/river/sabo/link_dosya_kiken.html))などで確認しましょう。

※ただし、土砂災害は、土砂災害危険箇所以外でも発生します。

### ②雨が降り始めたら情報を確認

テレビやラジオ、インターネット、防災行政無線などから、気象庁の気象情報(警報等)や役場からの避難情報を確認しましょう。

### ③豪雨になる前の早めの避難

突然の大雨のときは、避難情報の発表が遅れたりすることも考えられますので、危険を感じたら、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難することが重要です。

また、夜間で見通しが悪い場合など、避難場所への移動が危険でできない場合などは、自宅や近隣建物の高い階などへ避難し、大変危険ですので、安全が確認されるまで避難場所から自宅に戻ることなるべく避けましょう。